科目分類	看護専門科目　応用看護			開講時期	4年	前期
科目名	在宅看護学実習Ⅱ					
選択/必修	選択必修	単位数（時間数）	2単位	90時間	授業形態	実習
担当教員	家根　明子　・　横山　浩誉					
メールアドレス	a-yane@tsuruga-nu.ac.jp(家根) h-yokoyama@tsuruga-nu.ac.jp(横山)			オフィスアワー	随時可能であるが、事前に予定を確認することが望ましい。	

授業目的	疾患に罹患しても住み慣れた家（地域）で尊厳をもって安心して暮らすことができるしくみについて考える。そのために、在宅療養を行っている人達を支援する施設の活動内容を理解し、その有効性、今後の課題を考える。
授業概要	地域の療養者を支える複数の施設（在宅療養支援診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所など）で実習を行う。これらの施設、職種がどのように人々を支えているのかその実態を理解し、課題について検討する。
授業計画	・在宅療養支援診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所それぞれの施設で実習し、支援を行っている対象者の全体像、活動内容、課題などについて理解する。 ・地域で療養する人・家族は、どのようにこれらのしくみを活用しているのか、その有効性・課題を検討する。 ・これらをもとに、疾患に罹患しても住み慣れた家（地域）で尊厳をもって安心して暮らすことができるしくみについて考える。
教材 参考文献等	教科書：河原加代子ほか 系統看護学講座 在宅看護論 医学書院 参考書：押川真喜子ほか 新訂版 写真でわかる訪問看護 アドバンス インターメディカ、福田素生ほか 系統看護学講座 社会保障・社会福祉 医学書院、ほか適宜参考文献を紹介する。
成績評価 基準・方法	事前課題・実習記録・実習終了後レポート・実習態度により総合的に評価する。
履修要件	地域医療連携システム論、在宅看護学Ⅱ、ターミナル看護及び在宅看護学実習Ⅰを修得していること。

留意事項 その他	実習の詳細については別途実習要項を配布し、説明する。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての在宅看護の経験を活かして、疾患に罹患しても住み慣れた場で尊厳を持って安心して暮らせる仕組み、在宅療養者を支援する施設の活動についての実習指導を行う。